

町長との行政懇談会 質疑応答

日 時：平成 23 年 12 月 13 日（火） 午後 7 時～ 8 時 55 分

場 所：井戸公民館

対 象：井戸地区

参加人員：41 人

Q：安心・安全で暮らしやすいまちづくりをコンセプトに行政運営してほしい。また、農業をいかに振興するか考えるべき。国や県に則るのではなく、町独自で発信すべき。学校教育で田植えなどの教育をしてみてもどうか。高松の「ごじまん大会」に習って農産物の優秀生産者を表彰してみてもどうか。耕作放棄地を地域でどうにかする施策などを考えてほしい。

A：農業政策ほど国の動きに左右されるものはない。町独自で何かやるべきとは考えているが限界がある。表彰は検討したい。また、地場産品を売れる道の駅も検討してみたい。

Q：災害時、自治会館に避難したときの連絡方法はどうか。自主防災組織の会長に連絡するような体制か。

A：三木町の死者数ゼロ、30 分以内に災害対策本部の設置が目標である。自主防災組織は形骸化しているところが多いので、実動できる組織となるよう訓練していきたい。また、「近助」が大事であるため、自治会組織の再構築をし、ゆくゆくは連合組織も設けたい。連絡体制は、町から防災無線による一方通行であるが現状である。消防団の消防車には無線があるため、これを活用して連絡を取り合ってもらいたい。

Q：鍛冶池の震災対策はどうなっているか。

A：福島の影響を教訓に、ため池の堤防の耐震診断及び耐震強化工事を来年から行う。10 万トン以上のため池から順次実施する。

Q：平成 22 年度に三木町で 19 件の児童虐待があった。児童虐待防止を啓発するオレンジリボン職員全員がつけて、住民に知ってもらってほしい。

A：職員組合と話をしてみる。

〔 後日、平成 24 年度から児童虐待防止月間に全職員がつけるようにする旨、回答。 〕

Q：井戸農村公園は、井戸の老人会が使っていたが、平木スポーツクラブも使うようになった。そして施設の利用無料化に伴い、利用の年間計画を出したさぬき三木スポーツクラブが利用を優先されるようになった。産業振興課は「使用の制限はしてはならない」と言ったが、いつでも誰でも使えるようにしてほしい。

A：確かめさせてほしい。できるだけ地元の人に使ってもらいたい。場所がないことが問題なので、下水処理場の処理方法を変更したことで空いた土地に多目的広場を整備する予定である。

〔 後日、農村公園は住民の皆さまにご利用していただける場所であり、本件については、利用者と三木町で来年 1 月に場を設けて協議することになった。 〕

Q：そこにはトイレも必要だ。

A：当然である。

Q：浄化槽は個人管理だが、法定検査を4割しか受けていないのは問題である。さぬき市の寒川町は管理組合を作っているようだが、参考の上検討してほしい。

A：現在下水に着工していない区域で合併処理浄化槽が選択されたら、維持管理を町が補助することも考えているが、下水が終わるまで少し待っていただきたい。

Q：井戸公民館でのさんさん会やひまわり会は、公民館の近くの人ばかりが利用している。井戸の人が参加できるよう、参加したらコミュニティバスの乗車券を配るようにはできないか。

A：やるとしたら井戸だけという訳にいかないなので、相談のうえ、回答したい。

〔 後日、コミュニティバスの運行していない場所もあり、公平性に欠けるので実施は難しい旨、回答。 〕

Q：ゴミの焼却は1トンで5万円かかる。コンポストの利用を促進するなど、ゴミの減量化に力を入れるべき。

A：市町合併により、溶融炉を使用する町が減ったことで、ゴミの量が減ってもコストは安くないので、どうしたらいいか悩んでいる。リサイクルは重要なことである。

Q：役場の職員は異動のサイクルが短く、3～4年で動くから素人集団である。少なくとも5～10年は固定した方が効率が良いのでは。

A：役場は様々な仕事をしないといけないので、2～3年でいろいろな仕事をさせて、経験を積ませる方針である。専門知識のある職員を育てることも大事である。

Q：孤独死が社会問題となっているので、花丸自治会では75歳以上一人暮らしの人には、指名された近所の人が1日1回声かけをしている。他の自治会にもこの活動をするよう町が呼びかけたらどうか。

A：良い活動だが、まずは自治会組織がきちんと機能するような働きかけをしていきたい。

Q：役場の窓口で声を荒げている人を目にする。各種証明書の発行は役場でしかできないのだから、職員教育をしっかりし、住民が納得する対応をしてほしい。

A：住民に不快感を与えないよう職員教育を徹底するが、教育には時間を要する。

Q：地下水のポンプ施設2か所が利用されていない。点検にも来ていないような気がする。少しは使ってほしい。使わないなら邪魔になるので除けてほしい。

A：湧水時のために設置したもので、近年は大湧水が起こっていないから使っていないのだと思う。確認して回答する。平常時は香川用水の安全な水を使用する。

〔 12月26日に面会の上、今後も継続して調整することになった。 〕

Q：役場の公用車のアイドリングの時間が長い。教育するべき。

A：指導を徹底する。

Q：行政懇談会はすばらしい企画である。来年以降もしてほしいが、どうか。併せて警察による防犯や交通の指導もしてほしい。

A：反響も大きいので、来年もやりたい。その場合は、今年の反省として、事前に質問を受け付け、回答は担当課も参加のうえ回答できるような体制をとりたい。